



並松地域学校規模適正化検討協議会ニュース



第4号

平成 27 年 8 月
教育政策課

第4回並松地域学校規模適正化検討協議会が8月6日(木)に開催されました。



統合再編小学校の場所を都祁小学校に決定させていただきました

第3回の協議会で、ご意見をいただいております統合場所につきましては、7月27日に、4地域の学校規模適正化検討協議会長にお集まりいただき、市教委事務局、市長部局各担当から、統合再編小学校の場所を都祁小学校の敷地とするという市の方針について、ご報告させていただきました。今回の協議会では、委員の皆さまに、市教委から統合場所に係る説明をさせていただきました。

統合場所を決めるにあたりましては、各地域の皆さまのご意見を参考にしながら、市の各部門関係局と話し合い、最終的には教育的な見地から、総合的に判断させていただいております。一番に考えさせていただきましたのは、中長期的に見た学校の在り方です。統合再編しましても、統合小学校が単学級になっていくことが推計上わかっており、都祁中学校も将来、単学級に向かっていきます。そういった児童数減少の中で、メンバーは同じでも環境の変化を与えることで集団の変化が期待できるため、小学校と中学校の生活を分けた方が良いと判断しました。また、既存の施設を活用できることから、都祁小学校は敷地的に余裕があり、児童数が現都祁小児童より増加し教室数が増えても、落ち着いて小学校の学習を進めていく環境の維持ができます。さらに、スクールバスの転回場所などで利用できる余地もあり、安全面の確保もできます。施設の耐久年数においても、都祁中学校が改築済みであることから、都祁小学校を改修・整備すれば、それぞれの施設の継続使用が可能です。総合的に、勘案して、都祁小学校を統合校場所とさせていただきました。4つの小学校の児童が集まることで、より良い環境を創り、互いに切磋琢磨することにより、互いに伸ばしあえる毎日が過ごせる学校づくりをすすめていきます。

都祁統合再編校舎大規模改修事業打合せ会について

本協議会とは別に、4地域から、地域住民代表・保護者代表・学校関係者代表やその他関係の皆様方にお集まりいただき、都祁統合再編校舎大規模改修事業打合せ会を開催してまいりたいと考えております。教育委員会事務局だけでなく営繕課等、市の専門職員も交えながら、どのような校舎、学校施設にしていくか皆様からのご意見をお伺いする予定です。9月中に2回の打合せ会の開催を予定しており、皆さまからのご意見を設計に反映させ、より良い学校づくりをすすめさせていただきたいと考えております。並松地域からは、大東勲様（協議会会長）、藤井和仁様（並松地区自治連合会長、藺生町自治会長）、辻悦寿様（協議会副会長、並松小学校PTA会長、学校評議員）、小林佳代様（並松小学校PTA副会長）、大久保憲二様（並松小学校校長）の5名の方が代表として、校舎打合せ会に出席していただくことになりました。



質疑応答について



(→市教育委員会事務局からの回答)

- ・ 代表者が協議会で意見を持ち寄るためには意見集約をする必要があるので、市としてのタイムスケジュールを示してほしい。
 - 現状のおおまかな予定としては、校舎打合せ会を9月上旬に第1回、9月下旬に第2回を開催いたします。具体的な日程に関しましては、今回選出いただいた代表者と調整させていただきます。
- ・ 校舎打合せ会に対して地域、保護者、それぞれで要望があるが、全ての意見を出しても実現できないだろう。市である程度の許容範囲を示してもらいたい。
 - 他の地域でも同様の意見を頂いております。皆様のご意見を頂くという主旨から外れる可能性がありますので、こちらから統合校舎案として、全体の設計を提示するということはいたしません。第1回校舎打合せ会で全国的な建設事例をお示しいたします。そこで頂いたご意見を反映させたものを第2回で提案させていただき、更に協議いただきたいと思いますと考えております。
- ・ 4地域協議会長が集まった際に挙げた、校舎視察の要望についてはどうなったのか。
 - 視察の予算が当初ありませんでしたので、現在財政課と調整しております。
- ・ 都祁地域は結局、施設一体型の小中一貫教育か施設分離型の小中一貫教育のどちらになるのか。一体型だと校長が1人になると聞くと聞くと、都祁地域の場合はどうなるのか。校区も大きくなり、隅々まで目の行き届いた学校経営ができるのか心配である。
 - 都祁地域では、小学校と中学校を分けた校舎で学んでもらおうと考えております。現状では、各学校に校長1名、教頭1名が配置されます。小中一貫というのは教育内容の話で、小学校と中学校の教員が連携を深め、小中の学びを繋いでいきます。一体型と分離型というのは校舎の話で、都祁地域は小学校と中学校を維持する分離型という形になります。
- ・ 統合再編によって並松小学校が使われなくなっても、別の避難所が見つからない限りは体育館が避難所であり続けるのか。
 - もし避難所が変更になる場合は必ず代替場所が決まってからになります。避難所が変更にならない限りは避難所として維持されることとなります。跡地の利活用につきましては、地域の皆様のご意見を伺い、奈良市総体で進めてまいりたいと考えております。
- ・ 統合再編に関わって、こども園の保護者に周知されているのか心配している。協議会ニュースを全戸配布しているということだが、こども園から配布いただく方が保護者は目を通す確率が高い。
 - 現在、4協議会それぞれの協議内容で協議会ニュースを作成しております。事務局からは4地域で同じ説明になるようにしておりますが、各地域の考えは少しずつ異なりますので、全地域のニュースを配布・掲示することは混乱を招く恐れがあります。ただ、もっと分かりやすい方法で情報がほしいとのことですので、こども園の保護者の皆様への情報提供の方法を今後、検討させていただきます。



第5回学校規模適正化検討協議会及び都祁統合再編校舎大規模改修事業打合せ会(仮称)の開催日時については、改めて後日お知らせをさせていただきます。

お問い合わせ先 奈良市教育委員会事務局教育政策課 TEL0742-34-5386